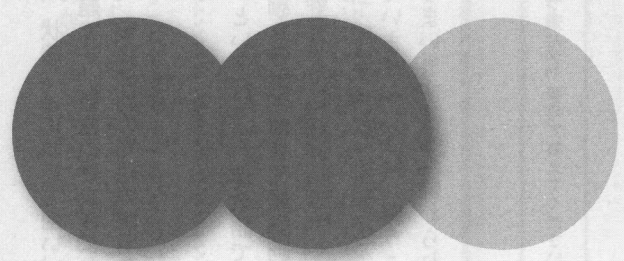


平成21年度 第1回

日本語検定

解答と解説

4級



- 一 …… ②
二 …… ③
三 …… ①
四 …… ③
五 …… ②

◆相手の側の行為や物事、状態などについて用い、相手を敬う気持ちを表す敬語の問題です。敬語のさまざまな問題点を取り上げてありますので、それぞれの問題の説明をよく読んでください。

一 おばさんの「縫う」という行為を、尊敬語で言います。「縫う」は五段活用動詞なので、尊敬の助動詞は「れる」を用いますから、②「縫われた」が適切です。「わ」は、「縫う」の未然形活用語尾、「れ」は、「れる」の連用形です。①は、敬語が使われていません。③は、縫うことをさせられたことになってしまいます。④「縫われ」は、「れ

る」ではなく「られる」を付けてしまった形です。

二 受付の人の「呼ぶ」という行為に対して、そのことを自分のためにして「もらう」ことから、謙譲語「お呼びいただく」で表した、③「お呼びいただけ（ませんか）」が適切です。①「お呼びしてくれ」と②「お呼びされてくれ」は、相手の行為そのものに対して、謙譲表現「お〜する」の形を用いているだけでなく、「くれる」を使っているの、敬意が表されておらず不適切です。④「お呼びになられていただけ」は、尊敬語「お呼びになる」に、さらに尊敬の助動詞「れる」を重ね（過剰敬語といえます）、それに「いただく」を付けており不適切です。

三 先輩が「教えてくれた」ことを尊敬語で言っている、①「教えてくださった」が適切です。②「教えてくれた」は、敬語が使われていません。③「お教えしてください」が、「お〜する」という謙譲表現の形になっているので不適切です。

四 「心配」に「ご」を付けた、③「ご心配だった」が適切です。「お」と「ご」の使い分けについては、訓読みの言葉には「お」を、音読みの言葉には「ご」を付けることが多いと言えます。④「ご心配なさられた」は、「ご心配なされた」であれば適切ですが、それに尊敬の助動詞「れる」を重ねた過剰敬語で不適切です。①と②は「心配」に「お」を付けてしまっています。また、②は「お〜する」という謙譲表現の形です。

五 「〜する」という形の動詞（複合サ行変格活用動詞）は、「する」の部分で「なさる」「される」にすれば尊敬語になりますから、「なさる」を用いた、②「帰国なさって」が適切です。①「帰国して」は、敬語が使われていません。③「帰国しました」は、敬語を使っていない「帰国し」の後に丁寧語「ます」を付けた形ですが、使い方として不適切な言い方です。④は、「帰国なさる」に「れる」を重ねた過剰敬語です。

問1

一 【どのような状況のとき、】（ ）に入る敬語を使った適切な言い方を一つ選んで、番号で答えてください。

【親戚の家で、飾ってある刺しゅうを見て】

これ、おばさんが（ ） たのですか、きれいな刺しゅうですね。

- ① 縫う ② 縫われ ③ 縫わされ ④ 縫われ

二 【母校の小学校の受付で、担任だった先生を呼んでもらう】

恐れ入りますが、橋本先生を（ ） ませんか。

- ① お呼びしてくれ ② お呼びされてくれ ③ お呼びいただけ ④ お呼びになられていただけ

三 【先輩に、機械の使い方を教えてもらって】

先輩が（ ） とおりにやりましたつもりなのですが、うまくいきません。

- ① 教えてくださった ② 教えてくれた ③ お教えしてください ④ お教えしていただいた

四 【叔父が急病になったと聞いて】

叔父さんが急に倒れられて、叔母さんもさぞ（ ） てしょうね。

- ① お心配だった ② お心配された ③ ご心配だった ④ ご心配なさられた

五 【海外からももうすぐ帰国する年上のいとこに書いた手紙に】

どうか無事に（ ） てください。

- ① 帰国し ② 帰国なさつ ③ 帰国しまし ④ 帰国なさられ

【のような状況じょうきょうのとき、（ ）に入る敬語を使った適切な言い方を
ください。一つの言い方は一回しか使えないこととします。

から一つ選んで、番号で答え

一 「先生から出席簿しゅっせきぼを持ってくるように言われて」

ては、すぐに教室から出席簿を持って（ ）ます。

二 「犬が好きな近所の人に」

うちで飼い始めた子犬も、よろしければ、今度（ ）ます。

三 「お茶をちやごちそうになって」

のどがのど渴かわいていたので、おいしく（ ）ました。

四 「愛読している本の著者に会って」

先生がお書きになった本を（ ）て、とても感動しました。

五 「美術の時間に作った絵画を叔母おばにほめられて」

この絵画を、叔母さんに（ ）たいと思うのですが。

- ① ちようだいし
- ② 召し上がり
- ③ 拝観し
- ④ 拝読し
- ⑤ まいり
- ⑥ いらっしやい
- ⑦ お目につけ
- ⑧ ご覧になり
- ⑨ 申し上げ
- ⑩ 差し上げ

3 ● 四級

問 2 ● 解答

- 一 …… ⑤
- 二 …… ⑦
- 三 …… ①
- 四 …… ④
- 五 …… ⑩

解説

◆自分の側から相手の側に向かう行為・物事などについて用いて、相手を敬う気持ちを表す謙讓語けんじょうごの問題です。謙讓語は特に使い間違えやすいので、それぞれの問題の説明をよく読んでください。

一 こちらから「行く」ことを謙讓語けんじょうごで言う言い方として、⑤「まいり」が適切です。⑥「いらっしやい」は、「行く」「来る」「いる」などの尊敬語なので、自分の行為くわいに用いるのは不適切です。

二 近所の人に「見せる」ことを言う場合の謙讓語けんじょうごとして、⑦「お目につけ」が適切です。⑧「ご覧になり」は尊敬語で、近所の人に見ることを強制しているような言い方になってしまいます。

三 飲み物をごちそうになる言い方として、①「ちようだいし」が適切です。②「召し上がり」は、尊敬語です。

四 人の書いたものを読むことを謙讓語けんじょうごで言うので、④「拝読し」が適切です。③「拝観し」は、神社・仏閣やその宝物などを見る場合に使う言葉です。

五 相手にあげられることを言う謙讓語けんじょうごとして、⑩「差し上げ」が適切です。⑦「お目につけ」は、すでに見てもらっているので当てはまりません。

- ア … ③
 イ … ②
 ウ … ③
 エ … ④
 オ … ①

◆会話の中で、尊敬語と謙譲語を適切に用いることができるかどうかを問うている問題です。こういう場合は、特に尊敬語と謙譲語を混同しないようにすることが肝心です。また、過剰敬語にならないように注意することが必要です。

ア 先生の行為（こうい）ですから、尊敬語「お出になる」を用い、「なる」の部分（ぶぶん）を「なれる」という可能の言い方にした③「お出になれ（まずでしようか）」が適切です。①「出られ」は、敬語が使われていません。この「られ」を尊敬の助動詞と見た場合には、可能の意味を表す部分はなくなく

てしまいますから、いざれにしても不適切な言い方です。②「お出になり」は、可能表現がないのでこの場合には不適切です。④「お出になられ」は、「お出になる」に尊敬の助動詞「れる」を重ねた過剰敬語です。

イ 「休む」を尊敬語にした、②「休まれて」が適切です。①「休んで」は、敬語が使われていません。③「休んでくれて」と④「休んでくださって」は、先生が休んだことが自分たちにとってありがたいという言い方になってしまい不適切です。

問3 次の会話文は、中学三年生の松島さんが、病気で休んでいる担任の谷口先生の家に電話をかけたときのもので、ア～オに入る言い方として最もふさわしいものを選んで、番号で答えてください。

四級 ● 4

【松島さん】 谷口先生のクラスの松島と申しますが、先生は電話に（ア）まずでしようか。

【家の人】 はい、もうかなりよくなりましたので、今代わります。

【谷口先生】 もしもし、松島さん、わざわざ電話をしてくれてありがとうございます。

【松島さん】 先生、お体の具合はいかがですか。先生が三日も（イ）いるので、クラスみんなが心配して、わたしが代表で様子を（ウ）ことになったのです。

【谷口先生】 もうだいぶ元気になったから、明日は行けると思うよ。まだ少し熱があるけれどね。

【松島さん】 そうですか。でも、あまり無理を（エ）ください。

【谷口先生】 ありがとうございます。でも、寝ているとみんなの顔が見たくなってたまらなくてさ。

【松島さん】 そうですか。ご無理でなければいらっしやってください。みんなも（オ）と思います。

ウ 先生に対する自分の行為（こうい）なので、「聞く」の謙譲語（けんじょうご）を使った、③「お伺いする」が適切です。①「聞く」は、敬語が使われていません。②「お聞きになる」は、尊敬語です。④「お伺いになる」は、謙譲語「伺う」を尊敬表現「おくになる」に当てはめた言い方で不適切です。

エ ①「しないで」を尊敬語にした、④「なさらないで」が適切です。①は敬語が使われていません。②も敬語が使われていません。また、「無理をして（い）ないで休んでいなさい」のような言い方をすることはありませんが、直接「ください」につなぐのは不自然です。③は、②の「して」の部分（ぶぶん）を尊敬語「なさる」にしたものですが、同じことが当てはまるとともに、非難口調になっていてこの場面では不適切です。

オ 先生が学校に出でることで喜ぶのはみんな（自分

- ア……① 出られ ② お出になり ③ お出になれ ④ お出になられ
- イ……① 休んで ② 休まれて ③ 休んでくれて ④ 休んでくださって
- ウ……① 聞く ② お聞きになる ③ お伺いする ④ お伺いになる
- エ……① しないて ② してないて ③ なさってないて ④ なさらないて
- オ……① 喜ぶ ② 喜ばれる ③ お喜びされる ④ お喜びになる



たち)ですから、尊敬語の②「喜ばれる」や④「お喜びになる」は不適切です。③「お喜びされる」も、「喜ぶ」を謙讓表現「おくする」に当てはめ、さらに尊敬の助動詞「れる」を重ねており不適切です。この場合は、ただ「喜ぶ」という①が適切です。

- 一 …… ②
 二 …… ①
 三 …… ③
 四 …… ①
 五 …… ②

◆「射る」のような上一段活用動詞、「受ける」のような下一段活用動詞、カ行変格活用動詞「くる(来る)」「のみ」に可能の助動詞を付けるとき、本来「られる」を付けるべきなのに「れる」を付けてしまうのが、いわゆる「ら抜き言葉」です。将来、この形が認められるようになることがあるかもしれませんが、現在はまだ規範的な言い方ではありません。また、「勝つ」のような五段活用動詞は、「勝つ」が「勝てる」となるように、可能動詞を用いるのが普通です。サ行変格活用動詞(基本語は「する」)は、「できる」を用います。

一 「射る」はア行上一段活用動詞なので、未然形「射

問4 一〜五のようなことを言うとき、——部分の言い方は適切でしょうか。適切である場合には①を、適切でない場合には適切な言い方を②・③から選んで、番号で答えてください。

四級 ● 6

一 あんなに遠く離れている的の中心を、よく射れるものだ。

- 〔①(適切である) ②射られる ③射れられる〕

二 今日の試合に勝てるかどうかは分からないが、わたしたちは全力を尽くすだけだ。

- 〔①(適切である) ②勝たれる ③勝てられる〕

三 体調さえ整えて試験が受けられれば、きっと合格するはずだ。

- 〔①(適切である) ②受けられられ ③受けられれ〕

四 病気で学校を休んでいる湯原さんを、慰めてこられるといいのだけれど。

- 〔①(適切である) ②慰めてこれる ③慰めてこられれる〕

五 今度の課題曲は難しくて、今はまだ上手に演奏せられない。

- 〔①(適切である) ②演奏でき ③演奏され〕

に可能の助動詞「られる」を付けた、②「射られる」が適切です。問題文の「射れる」は、ら抜き言葉。③「射られる」は、ら抜き言葉「射れる」に、さらに「られる」を付けた言い方で不適切です。

二 夕行五段活用動詞「勝つ」を可能の形にする場合には、可能動詞の「勝てる」を用いますから、問題文で適切です。②「勝たれる」は、年代や地域によってこのように言う人もいて誤りとはいえませんが、標準的な言い方ではありません。③「勝てられる」は、「勝てる」という可能動詞に、さらに「られる」を重ねた言い方で不適切です。

三 「受ける」は、カ行下一段活用動詞なので、未然形「受け」に可能の助動詞「られる」を付けた、③「受けられれ(ば)」が適切です。問題文の「受けられ(ば)」は、ら抜き言葉です。②「受けられられ(ば)」は、ら抜き言葉「受けれる」に、さらに「られる」を付けた言い方で不適切です。

四 「慰めてくる」は、カ行変格活用動詞「くる(来る)」が、「〜てくる」という形(補助動詞といえます)で別の動詞に付いたものです。したがって、未然形「こ」に可能の助動詞「られる」を付けた、問題文の「慰めてこられる」で適切です。②「慰めてこれる」は、ら抜き言葉。③「慰めてこられれる」は、ら抜き言葉「これる」に、さらに「られる」を付けた言い方で不適切です。

五 「演奏する」は、サ行変格活用動詞ですから、可能の形にする場合は「できる」を用いて、②「演奏でき(ない)」と言うのが適切です。問題文の「演奏せられ(ない)」は、否定表現につながる未然形「演奏せ」に、助動詞「れる」と無用な「れ」を接続させた形で不適切。③「演奏され(ない)」は、「演奏する」の未然形「演奏さ」に助動詞「れる」が付いた形で、受け身や尊敬の意味になってしまいます。

「書く」に対して「書かせる」、「食べる」に対して「食べさせる」のように、動詞の未然形に助動詞の「せる」「や」「させる」を付けた言い方があります。そのとき、「書く」やそれと同じ形の変化をする動詞に「させる」を付けて、「書かせる」のように言ってしまうのが、さ入れ言葉と呼ばれるもので、不適切な言い方です。

一〜五の——部分の言い方は適切でしょうか。適切である場合には○を、適切でない場合には×を解答欄に記入してください。

一 江戸時代の関所は、手形がないと通らせてくれなかった。

二 ああ驚いた。あんまりびっくりさせないでくれよ。

三 安全のため、後ろの席の人にもシートベルトを締めさせなくてはならない。

四 おもしろそうなパズルだね。ばくもいっしょに解かせてよ。

五 練習が一段落しましたので、部員にごはんを食べてきさせてもいいでしょうか。

7 ● 四級

問5 ● 解答

- 一 …… ○
- 二 …… ×
- 三 …… ○
- 四 …… ×
- 五 …… ×

解説

◆使役の助動詞「せる」「させる」を動詞に付けるときには、
 ・五段活用動詞／サ行変格活用動詞…「せる」
 ・上一段活用動詞／下一段活用動詞／カ行変格活用動詞…「させる」

のように使い分けます。「さ入れ言葉」とは、五段活用動詞やサ行変格活用動詞に「させる」を付けてしまった言い方のことです。

一 「通る」は、ラ行五段活用動詞なので、未然形「通ら」に使役の助動詞「せる」を付けます。したがって、問題

文の「通らせ(て)」は、適切な表現です。

二 「(びっくり)する」は、サ行変格活用動詞なので、未然形「さ」に「せる」を付けて、「させる」となります。問題文の「ささせ(ない)」は、未然形「さ」に「させる」を付けた、さ入れ言葉です。

三 「締める」は、マ行下一段活用動詞なので、未然形「締め」に使役の助動詞「させる」を付けます。したがって、問題文の「締めさせ(なくては)」は適切な表現です。

四 「解く」は、カ行五段活用動詞なので、未然形「解か」に使役の助動詞「せる」を付けて、「解かせる」となります。問題文の「解かせ(て)」は、「させる」を付けた、さ入れ言葉です。

五 「食べてくる」は、カ行変格活用動詞「くる(来る)」が「くってくる」という形(補助動詞)で、「食べる」に付いたものです。「くる」に使役の形にする場合には、未然形「く」に「させる」を付けて、「くさせる」となります。問題文の「食べてきさせ(て)」は、連用形「(食べて)き」に「させる」を付けてしまった不適切な言い方です。

- 一：①
- 二：③
- 三：②
- 四：②
- 五：③
- 六：①

解説

◆熟語どうしの関係として重要な、似た意味の言葉(類義語)といえます)と、反対の意味の言葉(「対義語」といいます)をまとめた問題です。

一 問題の語と同じ漢字「細」を含む熟語の中から、類義語を選ぶ問題です。「詳細」は、詳しいこと、細かな点という意味の言葉で、①「子細」が似た意味の言葉です。特に、物事の詳しい事情などに使います。②「細事」は、ささいなこと、つまらないことを表す言葉。③「繊細」は、きめが細かくて美しいことや、感覚などが細やかで感じやすいことを表します。

問6

一～三は、【】の中の言葉と似た意味の言葉を、四～六は、【】の中の言葉と反対の意味の言葉を選んで、番号で答えてください。

◎似た意味の言葉

一 【詳細】

- 【】①子細
- ②細事
- ③繊細

二 【大衆】

- 【】①観衆
- ②群衆
- ③民衆

三 【失意】

- 【】①氣絶
- ②落胆
- ③無心

◎反対の意味の言葉

四 【能動】

- 【】①不動
- ②受動
- ③反動

五 【節約】

- 【】①出費
- ②費用
- ③浪費

六 【勤勉】

- 【】①怠惰
- ②強欲
- ③不良

二 問題の語と同じ漢字「衆」を含む熟語の中から、類義語を選ぶ問題です。「大衆」は、世間一般の多くの人のこと、③「民衆」が類義語になります。①「観衆」は、多くの見物人のこと。②「群衆」は、群がり集まったたくさんの人々のことです。

三 「失意」は、望みがとげられずがっかりする様子を表す言葉で、②「落胆」が似た意味の言葉です。①「氣絶」は、一時的に気を失うこと。③「無心」は、心に邪念がない様子。また、金品をねだるという意味にも使う言葉です。

四 問題の語と同じ漢字「動」を含む熟語の中から、対義語を選ぶ問題です。「能動」は積極的に他に働きかけること。②「受動」がその対義語で、他から働きかけられることをいいます。①「不動」は、動かないこと、動かされないこと。③「反動」は、ある動き、作用に対して起こる反対の動きのことです。

五 「節約」は、むだを省いて切りつめることです。金銭や時間、労力などについて用います。③「浪費」がその反対の意味の語で、それらをむだに使うことをいいます。②「費用」は、何かをするために必要な金銭のこと、①「出費」は、費用を出すことやかかった費用のことです。「出費」のむだを省くことが「節約」なので、対義語ではありません。

六 「勤勉」は、勉強や仕事などにまじめに励む様子があります。①「怠惰」が、なまける様子を表す言葉で、対義語になります。②「強欲」は、欲が深いこと。③「不良」は、状態や質などが悪いこと、また品行がよくないことやそのような人をいいます。なまけるといいう意味ではないので、対義語には当たりません。

一〜四のそれぞれについて、「」の中の二つの言葉の関係と同じ関係になる組み合わせを一つ選んで、番号で答えてください。どちらの言葉が前で、どちらの言葉が後になっているかということにも注意してください。

一 【大豆——とうふ】

- ① 小麦——パン
- ② 冷凍庫——氷
- ③ うどん——そば
- ④ バター——チーズ

二 【加減——勝敗】

- ① 温暖——寒冷
- ② 昇降——階段
- ③ 生産——消費
- ④ 集散——出入

三 【数学——教科】

- ① 生徒——教師
- ② 学校——体育館
- ③ 古文——漢文
- ④ 水彩画——絵画

四 【ミシン——裁縫】

- ① 雑草——除草
- ② 鋤——耕作
- ③ 米——田植え
- ④ かかし——稲刈り

9 ● 四級

問7 ● 解答

- 一 …… ①
- 二 …… ④
- 三 …… ④
- 四 …… ②

解説

◆言葉どうしの関係を考える問題です。ここでは、

- ◎もの名前と、それを原料にして作られるものを表す言葉
- ◎対義的な意味を表す二つの漢字で構成されている言葉の組み合わせ

◎物事の名前と、それを含む同類のものをまとめて表す言葉

◎もの名前と、それを使って行う事柄を表す言葉を扱っています。

一 「大豆」は、「とうふ」の原料になります。したがって、もの名前と、それを原料にして作られるものを表す言葉という関係になります。①の「小麦」が「パン」の

原料になるので、これが同じ関係です。②は、「冷凍庫」が物を凍らせて、つまり「氷」のような温度で保存する場所といった関係になります。③の「うどん」と「そば」は、ともにめん類の一種です。④も③と同様の関係で、「バター」と「チーズ」は、ともに乳製品の種類です。

二 加えることと減らすことを意味する「加減」と、勝つことと敗れることという意味の「勝敗」は、ともに「加」と「減」、「勝」と「敗」という、反対の意味をもつ(対義的な)漢字で構成されている熟語です。④「集散——出入」が同じ関係の組み合わせで、「集」と「散」、「出」と「入」という、反対の意味の漢字どうしで構成されています。①の「温暖」と「寒冷」、③の「生産」と「消費」は、語自体が対義的な関係になっています。②の「昇降」は、反対の意味の漢字で構成されている熟語ですが、「階段」はそうではなく、「昇降」の対象となるものです。

三 「数学」は、学校などで学ぶ科目である「教科」の一種類で、「教科」に含まれるものですから、物事の名前と、それを含む同類のものをまとめて表す言葉という関係になります。④の「水彩画」は「絵画」の一種類で、これが同じ関係です。①は、「生徒」が「教師」に含まれるという関係ではありません。②は、「体育館」が「学校」にあるものという関係です。③の「古文」と「漢文」は、どちらも「国語」という教科の一種類です。

四 「ミシン」を使って「裁縫」をしますから、もの名前と、それを使って行う事柄を表す言葉という関係になります。これと同じなのは、②の「鋤——耕作」で、「鋤」を使って「耕作」を行うという関係です。①は、「雑草」を除くことが「除草」ですから、行為の対象となるものとその行為という関係。③は、「米」をつくるのに「田植え」をするという関係になります。④の「かかし」は、作物を荒らす鳥や獣を防ぐための人形のことと、「稲刈り」に使うものではありません。

- 一 …… ②
- 二 …… ③
- 三 …… ②
- 四 …… ①

◆ 同じ漢字が含まれている熟語の使い分けの問題です。同じ漢字を含むために、意味のうえで共通するところがあるので、文の意味に沿った適切な言葉を選ばなければなりません。

一 災害にあった人たちを助けるという慣用表現になるものとして、②を使った「援助の手が差し延べられた」が適切です。①「援用」は、自説を補強するために、他の文献や事例を引用することをいいます。③「後援」は、資金などを提供して後ろ立てとなって助けることで、「市の後援」「後援会」などと用います。

二 問題文は、「目標」という、行き着く先について言っていますから、そこへの道のりの意味を表す、③「前途」が適切です。また「前途」は、将来や、先行きのことも表します。①「帰途」は帰る途中のことです。②「中途」は、物事が完了に至る前の段階のことをいいます。

三 「くの色が濃い」という慣用表現に当てはまるのは、②「苦惱」です。苦しみや悩みのことで、「苦悩の色が濃い」は、他人から見ても分かるほどひどく思い悩んでいることを表します。①「苦肉」は、苦しまぎれに編み出した策という意味の、「苦肉の策」としてよく用いられます。③「苦情」は、不平・不満を関係者に訴えることをいいます。

四 ①「家紋」は、各家を表す決められたしるし(紋章)のことです。日本では古くから用いられ、植物・動物や文字などを使った、さまざまなデザインがあります。②「紋付」は、その家紋を付けた礼式用の和服のこと。③「波紋」は、水に物が落ちたときに水面に幾重もの輪となつて広がる模様のことです。世間などに影響を与えることの比喩として「波紋が広がる」という言い方があります。

問8

一〜四の()に入る言葉として、最も適切なものはどれでしょうか。番号で答えてください。

四級 ● 10

一 災害にあった人たちに、全国から()の手が差し延べられた。

- 〔① 援用 ② 援助 ③ 後援〕

二 目標に向かって一年間努力してきたが、まだまだ()は多難だ。

- 〔① 帰途 ② 中途 ③ 前途〕

三 仕事が進まず、最近の父は()の色が濃い。

- 〔① 苦肉 ② 苦悩 ③ 苦情〕

四 日本の伝統の一つである()には、植物や動物をかたどるなど、いろいろなデザインのものがある。

- 〔① 家紋 ② 紋付 ③ 波紋〕

◆ 使い方のうえで注意が必要な、さまざまな種類の言葉を取り上げています。

- 一 …… ②
- 二 …… ①
- 三 …… ①
- 四 …… ②

一 【たじたじ】… 困難に直面してひるむような状態を表す言葉なので、②が適切な使い方です。①のような使い方はしません。

二 【思わせぶり】… 何か意味ありげで人に気をもたせるような態度をとる様子を表す言葉なので、①が適切な使い方です。②のように異性を「振る」ような場面

には合いませんし、「思わせぶりする」という形では使いません。

三 【武者ぶるい】… 戦いや重大な場に臨んだときなどに、心が奮い立って身体が小刻みにふるえることを表す言葉なので、①が適切な使い方です。②のように、怖くてふるえるときには使いません。

四 【我が道を行く】… 人に左右されずに自分で考えたとおりに行動することを比喩的に表す言葉なので、②が適切な使い方です。①のように、実際の「道」の場合には使いません。

問10 一〜四の見出しに掲げた言葉は、一方の文では適切に使っていますが、もう一方の文では適切に使ってはいけません。適切に使っているほうの文を選んで、番号で答えてください。

四級 ● 12

一 【たじたじ】

- ① 小さな子どもでも、役を与えればたじたじとこなすものだ。
- ② 小さな子どもの鋭い質問にたじたじとなってしまった。

二 【思わせぶり】

- ① 山口さんは、委員を引き受けられるような思わせぶりの態度をとっていたが、昨日改めて頼んだら断られた。
- ② 秋山君が好意を寄せていることは中村さん自身も知っていたが、告白したとたん、その気はないと思わせぶりされた。

三 【武者ぶるい】

- ① だいたいな場面面でバターボックスに入って、思わず武者ぶるいしてしまった。
- ② 高い山に登って崖の下を見たら、武者ぶるいが止まらなくなった。

四 【我が道を行く】

- ① 僕は、学校から帰るのに我が道を行くから、寄り道などはしない。
- ② わたしは、人がどうであっても我が道を行く生き方をしていたいと思っている。

- 一 …… ③
- 二 …… ①
- 三 …… ①
- 四 …… ②

◆数を表す言葉を含む慣用的な表現を取り上げた問題です。言葉の意味とともに、その言葉といっしょに使われること、多い言葉にも注意が必要です。

一 「〜に秀でる」という慣用句になるのは、③「一芸」で、ある一つの技や芸が優れているという意味になります。①の用法としては、他の人と比べて少し優れていることを意味する。「一日の長がある」、②は、ひたすら思いを込めて実行すれば、どのようなことも成し遂げられるという意味の「一念岩をも通す」などがあげられます。

問11

一〜四のようなことを言うとき、()に入る言い方として最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

四級 ● 14

一 どんなことでも () に秀でている人は尊敬に値する。

- ① 一日
- ② 一念
- ③ 一芸

二 橋田君の言うことにあきれてしまい、() が継げなかった。

- ① ニの句
- ② ニの矢
- ③ ニの腕

三 () と言っじゃないか、次はきつと成功するよ。

- ① 三度目の正直
- ② 三拍子そろろう
- ③ 二度あることは三度ある

四 君が助けに来てくれるのを、() の思いで待っていたよ。

- ① 百人か
- ② 一日千秋
- ③ 万が一

二 「〜が継げない」という形になるのは、①と②がありますが、他人の言うことにあきれるというときの慣用句は、①を用いた「二の句が継げない」です。②「二の矢」は、二度目に射る矢、次の手段のことで、「二の矢が継げない」は、続けて打つべき手が無いということです。③「二の腕」は、腕の上部のことで、慣用句ではありませんが、「二の腕をつかむ」などと使います。

三 次にきつと成功すると励ましているのですから、三回も挑戦すれば成功するかもしれないという意味の、①「三度目の正直」が適切です。③「二度あることは三度ある」では、また失敗することになってしまいます。②「三拍子そろろう」は、必要とされる三つの条件がそろっていることをいいますが、「次はきつと成功する」とは結び付きません。

四 「〜の思い」という慣用句になるのは、②「一日千秋」だけです。「一日千秋の思い」は、一日が千年にも感じるほど待ち遠しかったという意味を表します。①「百人か」は、強力な援助の意味になり、「君が来てくれて百人か」のような形で用います。③「万が一」は、「もしかししたら」の意味です。

左のメモは、中学三年生の野中さんが、自分たちで句会を開くための手順を書き留めたものです。ところが、見直しみると、漢字の使い方・送り仮名の付け方・仮名遣いについて、不適切な表記が何か所か見つかりました。不適切なものを [] からすべて選んで、番号で答えてください。

1. 句会で用ちいる投句用紙と選句用紙を準備する。ほかに、歳時記や辞書が手もとにあるとよい。
2. 各自、決められた数づつ俳句を作り、記名せずに投句用紙に書いて、進行役の人にわたす。
3. 進行役は、選句用紙に作者をふせて清書し、印刷して配歩する。
4. 各自、選句用紙を見て、自作を除く好きな句に、決められた数だけ印しを付ける。
5. 順番に、各自が選んだ俳句を声に出して読み上げていく。
6. 読み上げられた句の下の欄に、選んだ人の名前をメモする。
7. 選んだ人が多かった句から順番に、選んだ人全員が、受けた印像や選んだ理由などを述べていく。
8. ひとつおりの感想が述べられたら、選ばれた句の作者が名のりをあげる。
9. 作者は、作品の意図、作ったときの身情や、句の背景となっている状況などを話す。

- | | | | |
|--------|----------|-------|------|
| ① 用ちいる | ② 準備 | ③ 数づつ | ④ 記名 |
| ⑤ 清書 | ⑥ 配歩 | ⑦ 除く | ⑧ 印し |
| ⑨ 印像 | ⑩ ひとつおりの | ⑪ 感想 | ⑫ 身情 |

15 ● 四級

問12 ● 解答

解説

◆漢字の使い分け・送り仮名・仮名遣いの誤りが含まれている問題です。大ざっぱに書いたメモなどはよく見直さないと、こうした誤りをそのまま本原稿に持ち込んでしまう場合がありますので、他人の文章を見るつもりになって読み直す必要があります。

① 用ちいる…活用のある語は、活用語尾から送り仮名を付けるという原則が当てはまり、「用いる」が正しい書き表し方です。

② 準備…正しい書き表し方です。

③ 数づつ…「つ」は、「みかづき(三日月)」のように二つの語が組み合わさってに「ごると」と、「つづく(続く)」のように同じ音がくり返されてに「ごるときに使用」します。これは、そのいずれでもないのに、「ず」を使つて「数ずつ」とするのが正しい書き表し方です。

④ 記名…正しい書き表し方です。名前を書くことです。清書…正しい書き表し方です。きちんときれいに書くことです。

⑥ 配歩…配つて各人にわたすという意味で、「配付」が適切な書き表し方です。広く多くの人に配るのならば「配布」と書きます。

⑦ 除く…正しい書き表し方です。

⑧ 印し…「印」が正しい書き表し方です。名詞の「印」は送り仮名を付けずに書きます。

⑨ 印像…句から受けた感じということですから、「印象」が適切です。「像」は、「想像」「現像」などと用います。

⑩ ひとつおりの…正しい書き表し方です。歴史的仮名遣いで「とほり」と書く言葉なので、「とより」ではなく「とおりの」と書きます。

⑪ 感想…正しい書き表し方です。

⑫ 身情…心の中の思いということ、心情が正しい書き表し方です。

- 一：必至
- 二：有効
- 三：映像
- 四：感知

◆パソコンでの入力では、手書きでは考えられない誤りが残ってしまうことがあります。特に、同じ読み方をする言葉（同音異義語といいますが）に注意が必要です。

一 「必至」が正しい書き表し方です。必ずそうなること、避けられないことという意味で、問題文では、前知事の落選は避けられないという意味で用いています。「必死」は、死を覚悟して力を尽くすことです。

二 「有効」が正しい書き表し方です。効果や効力がある

ことで、問題文では、予防接種がインフルエンザ対策として効果があるという意味で用いています。「友好」は、国家や団体などが仲の良い関係にあることです。

三 「映像」が正しい書き表し方です。テレビや映画などに映し出される姿や形のことです。問題文では、カメラによって映し出された画像について使われています。「影」は、絵や彫刻などにある神仏や人の姿のことです。

四 「感知」が正しい書き表し方です。気配や様子などから、変化などに気づくことの意味で、問題文では、軽度の地震も感じ取り反応するという意味で使われています。「関知」は、あることに関係していて、その事情を知っていることです。

問13

一～四には、パソコンで入力したときの変換ミスがあります。誤っている言葉の正しい書き表し方を、楷書で解答欄に記入してください。

四級 ● 16

一 専門家によれば、このままでは前知事の落選は必死とのことだ。

二 予防接種が、友好的インフルエンザ対策であることに異論はない。

三 カメラ映像は、ときとして異常さや奇抜さを演出することがある。

四 このエレベーターには、軽度の地震でも閉知できる装置が付いている。



- 一 ア…① イ…③
- 二 ア…② イ…①
- 三 ア…③ イ…②
- 四 ア…① イ…③
- 五 ア…③ イ…①

◆ 同音や同訓の漢字の使い分けの問題です。

一 音読みで「セツ」と読む字の使い分けです。アは、①「摂」を使って、体にとり入れるという意味の「摂取」となります。イは、③「拙」を使って、まずい攻めという意味の「拙攻」になります。②「接」は、「接近」「接続」などと使います。

二 音読みで「フン」と読む字の使い分けです。アは、②「噴」を使って、「噴火」となります。「火を噴く」ということ

です。イは、不正や不当なことに對し腹を立てるといった意味の「憤慨」になりますから、①が適切です。③の「墳」は、墓を意味する漢字で、「古墳」などと使います。

三 音読みで「レイ」と読む字の使い分けです。アは、礼儀を知らないという意味ですから、③「礼」を使って「無礼」となります。イは、亡くなった人のたましいということで、②「霊」が適切です。「靈魂」という熟語もあります。①の「零」は、一つもないこと、ゼロの意味で、「零下」「零細」などと使います。

四 訓読みで「お」と読む字の使い分けです。アは、尾と頭が付いたままの魚料理のことを「尾頭付き」というので、①が適切です。イは、③「緒」を使って、下駄や草履の足の指をかけるひものことである「鼻緒」となります。②「雄」は、生物のおすや男、また、「おおしい」という意味の漢字です。

五 訓読みで「かた(い)」と読む字の使い分けです。アは、しっかりしていて、揺れ動かない決心ということで、③を使った「固(く)」となります。イは、材質が強くて丈夫だということで、①を使った「堅(い)」となります。②の「硬(い)」は、くずれにくくて丈夫だという意味や、力が入ってぎこちない様子だという意味で、「硬い石」「硬い文章」などと使います。

問15

一〜五のアイの()の中に入る漢字として適切なものを、それぞれの「」から選んで、番号で答えてください。

四級 ● 18

一 【① 摂】 ② 接 ③ 拙】

ア バランスよく栄養を()取することが大切だ。
 イ 得点のチャンスを全部逃すという()攻ぶりで試合に敗れた。

二 【① 憤】 ② 噴 ③ 墳】

ア 浅間山が、三日前から激しい()火活動を見せている。
 イ 無実の長田君が、万引きの疑いをかけられ、ひどく()慨していた。

三 【① 零】 ② 靈 ③ 礼】

ア 先生に対してあいさつを返さないような無()なまねをすべきではない。
 イ 亡くなった祖母の()を慰めるために、好きだった花を供えている。

四【①尾 ②雄 ③緒】

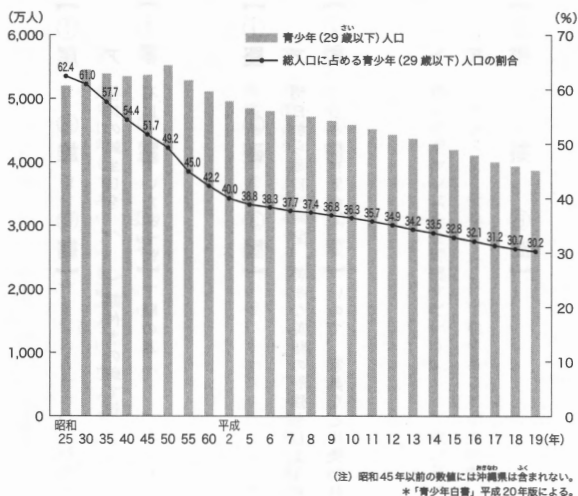
ア 祖父の誕生日を、() 頭付きの鯛で祝った。
イ 石につまずいた拍子に、下駄の鼻() が切れた。

五【①堅 ②硬 ③固】

ア 明日から毎日一時間、苦手な英語の勉強をしようと、() く決心した。
イ けやきは材質が() いので、家具などに使われる。



(1) 青少年人口および総人口に占める青少年人口の割合の推移



(2) 年齢別、男女別青少年人口 (平成19年10月1日現在)

(単位：千人)

区分	総人口	0～29歳	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳
全国	男	62,310	19,765	2,783	3,013	3,065	3,220	3,716
	女	65,461	18,843	2,650	2,862	2,918	3,062	3,521
計	127,771	38,607	5,434	5,875	5,983	6,282	7,238	7,795

*「青少年白書」平成20年版による。

問16

左の文章は、日本の「青少年人口および総人口に占める青少年人口の割合の推移」と「年齢別、男女別青少年人口」の資料(グラフと表)を見て、Aさんが書いたものです。後の質問に番号で答えてください。

四級 ● 20

- 一 …… ②
- 二 …… ③
- 三 …… ①
- 四 …… ③

◆ グラフと表から読み取れることを記した文章を題材とした問題です。それぞれの問いは、グラフや表から読み取れることを、どう表現するのが適切であるかを問うています。文章が、グラフや表のどこに着目し、そこから何を言おうとしているかを理解したうえで、正答を考えることとなります。ここでは、日本の「青少年人口」に関する、二つの図表を見て書かれた文章を取り上げています。

一 グラフ(1)で見ると、総人口に占める青少年人口の割合は、昭和二五年の六二・四%からしだいに減少してい

き、昭和四五年には五一・七%になっています。このときまではまだ五〇%以上でしたが、次の昭和五〇年には四九・二%と、五〇%を下回る(「過半数を割る」)こととなります。このことから、③は不適切です。ここは、ある割合をとることを表す「占める」という言葉を用いた、②「過半数を占めて」が適切です。①「過半数に近づいて」は、普通は使わない(「半数に近づいて」ならば使います)言い方ですし、昭和45年までずっと「過半数」だったわけですから、不適切です。

二 ここでは、総人口に占める青少年人口の割合が、青少年人口の推移と、どのような関係で推移しているかを表そうとしています。昭和五〇年以降は、両者とも同じように減少を続けていますから、そのことをいう言い方として、③「歩調を合わせる」が適切です。①「地歩を固める」は、地位や立場をしつかりしたものにすること。②「歩み寄る」は、互いに譲り合って一致するようにすることをいう言葉で、いずれも不適切です。

三 第三段落で述べているように、表(2)を見ると、総人口では女子が男子を約三〇〇万人上回り、〇から二九歳人口では男子が女子より約一〇〇万人多くなっています。このことから、三〇歳以上では、女子が男子より約四〇〇万人多いこととなります。このことを、「上回る」を用いて言っている、①「女子が男子を上回っている」が適切です。②の「匹敵している」は、両者が対等の関係にあることを表す言葉なので不適切です。③の「突破

平成19年の推計によれば、日本の総人口は約1億2800万人である。このうち、青少年人口とは0～29歳の人口を指し、その数は約3900万人である。

青少年人口の推移をグラフ(1)で見ると、昭和50年以降は、ほぼ一貫して減少している。また、総人口に占める割合についても、昭和25年から昭和45年までは(ア)いたが、昭和50年には50%を切り、青少年人口の推移に(イ)ように減少を続けている。言うまでもなく、少子高齢化が進行しているのである。

ところで、表(2)で青少年人口の男女別の数字を見ると、どの年齢区分でも男子が女子を上回り、合計では、男子が女子より約100万人多いことが分かる。ところが、日本の総人口を見ると、女子が約6500万人、男子が約6200万人で、女子が男子を約300万人上回っている。

つまり、青少年人口では男子が約100万人多いにもかかわらず、30歳以上では約400万人(ウ)ということであり、この逆転現象は、主として、女子の平均寿命が男子のそれよりも7歳程度長いために生じていると考えられる。同時に、青少年人口での男女差100万という数字は、全体との関係ではかなり小さいということであり、「(エ)少子化」とでも言うべき図式の中の現象である。

一 アに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 過半数に近づいて
- ② 過半数を占めて
- ③ 過半数を割って

二 イに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 地歩を固める
- ② 歩み寄る
- ③ 歩調を合わせる

三 ウに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 女子が男子を上回っている
- ② 女子が男子に匹敵している
- ③ 女子が男子を突破している

四 エに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 高齢化に負けない
- ② 高齢化に反逆する
- ③ 高齢化に飲みこまれた

21 ● 四級

している」も、物事が、ある境目をこえていることを表す言葉ですが、両者の数を比較するときには使いませんので不適切です。

四 最後の段落では、青少年人口における男女差が、総人口では逆転するという現象について述べています。ここでは、この現象が、女子の平均寿命が男子のそれよりも七歳程度長いことによつて生じていて、青少年人口での男女差一〇〇万という数字は、全体(総人口)との関係ではかなり小さいからだと言おうとしています。言い換えると、「少子化」により青少年人口の割合が減少しているために、「高齢化」に伴い三〇歳以上で女子の人口が男子のそれを上回ることが、青少年人口における男女差をおおいかくしていると言っているわけです。このようにならえ方を表現する言い方として、③の「高齢化に飲みこまれた少子化」とでも言うべき図式、となるのが適切です。①「高齢化に負けない」では、この現象について、少子化が高齢化と同程度以上に影響していることになつてしまうので不適切です。②「高齢化に反逆する」は、すぐ前で青少年人口での男女差を「全体との関係ではかなり小さい」と言っていて、ここでは「少子化」を「高齢化」と対抗するものととらえているわけではないので、やはり不適切です。

- 一 …… ③
 二 …… ②
 三 …… ③
 四 …… ①
 五 …… ①
 六 …… ①
 七 …… ①
 八 …… ③

◆総合問題です。これまでにでてきた内容を含んでいます。それぞれの問題のねらいや考え方を読んで、参考にしてください。

一 後の表現とのつながりで適切な言葉を選ぶ問題です。文末に「笑ってしまいました」とあるので、③「おかしくて」が適切です。①「知らなくて」は、「……と言っているのを」に続くのなら入れることも可能ですが、②「難しくて」ともども、笑うことにつながりません。

★これまでの問題に出てきた内容を含む「総合問題」です。

問17

次の文章は、中学三年生の永山さんが、最近興味をもったこととして書いたものです。この文章について、後の質問に番号で答えてください。

わたしは、このあいだ祖父が、「ベスト」のことを「チョッキ」、「スニーカー」のことを「ズック靴」と言っているのが（ア）、今はそんな言い方をしないと笑ってしまいました。

（イ）、後になって考えてみると、同じ物でも言い方が変わるといのは、言葉が変化していく現象の一つなのだと思います。言葉は時代によって、必ずしも変わっていくものなのだから、祖父のことを笑ったのはまちがいだって反省しました。

同じ物を指す言い方が変わるのとは逆に、（エ）が指す対象も変わります。例えば、「お前」は、今では相手を低く見るような言い方で、目上の人に使つたらたいへん失礼になりますが、国語の先生の話では、江戸時代には目上の人を呼ぶ言葉だったし、平安時代には皇后のような位の高い人をそう呼んだ（オ）。これを、今とちがうからといって笑うとしたら、古文などは読めなくなってしまう。

また、同じ言葉でも、アクセントが変わってきているのに（カ）こともあります。「モデル」という言葉を、母は、「モ」を高いアクセントで発音して後を低くします。それに対して、わたしたちの世代の多くは、「モ」を低くして、後を高く、平らに発音します。「ドラマ」も、父や母とわたしたちではアクセントがちがいます。これは、どちらが正しいというのではなく、やはり変化と考えるべきものだと思います。

ク こうしたことに興味をもつと、これまでにあげたような例は、無数に見つかりそうです。高校生になったら、自由研究の課題として、たくさん例を集めてみたいと思っています。

二 接続語の問題です。前の段落で祖父のことを笑ったのに対して、この段落の最後では「笑ったのはまちがいだつた」と言っていますから、反対のことをつなぐ働きをもつ言葉が入ることになります。その意味で適切なのは、②「けれども」です。①「そして」は、連続する別の事柄をつなぐ働きをもつ言葉、③「それはともかく」は、前と関係のない話を持ち出すときの言葉なので、いずれも不適切です。

三 「必ずしも」は、「必ずしもくはない」のように、打ち消しの言い方と呼応させて使う言葉です。ここでは、「変わっていく」という打ち消しではない表現が続くので、不適切です。また、②「必ずや」は、そこまで強く断定するだけの証拠や証明がありませんし、「……いくものなのだ」とのつながりも不自然になります。こういう場合には、③「必ずと言ってよいほど」と、少し余地を残した言い方をするのが適切です。

四 上に「……とは逆に」とあるので、「同じ物を指す言い方」が変わるということと、何らかの意味で逆になる表現でなければなりません。①を用いた「同じ言葉が指す対象」が変わるとすれば、逆の意味をもつので適切です。②「特定の言葉」では、決まった言葉だけが変わることになりませんが、ここではそのような制限はありません。後に続く文も、「例えば」と例をあげていて、「お前」という言葉に特定して言おうとしているわけではありません。③「たくさんの言葉」は、上と逆の表現になりません。

- 一 アに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。
 「①知らなくて ②難しくて ③おかしくて」
- 二 イに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。
 「①そして ②けれども ③それはともかく」
- 三 ウの言い方は適切でしょうか。適切な場合は①を、適切でない場合は②・③から適切なものを選んでください。
 「①(適切) ②必ずや ③必ずと言ってよいほど」
- 四 エに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。
 「①同じ言葉 ②特定の言葉 ③たくさんの言葉」
- 五 オに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。
 「①そうですね ②はずなのです ③にちがいありません」
- 六 カに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。
 「①気がつく ②気が回る ③気が向く」
- 七 キについて、書き表し方が適切である場合には①を、適切でない場合には②・③から選んでください。
 「①(適切) ②平に ③平いらに」
- 八 クの「こうしたこと」は、どういうことを指しているでしょうか。
 「①同じ言葉でもアクセントが変わってきていること ②同じ物を指す言い方が変わることに
 ③言葉が変化していく現象」

23 ● 四級

五 文末表現を問う問題です。同じ文の前の方に、「国語の先生の話では」とあるので、それを受けて、伝聞の意味を表す①「そうですね」が適切です。②「はずなのです」と③「にちがいありません」では、人から聞いたことになりません。

六 「気が」を使った言葉から、適切なものを選ぶ問題です。ここでは、単に事実として、「アクセントが変わってきているのに」①「気がつく」という表現が適切です。②「気が回る」は、細かい点にまで注意が行き届くことをいいますが、ここでは当てはまりません。また、③の「気が向く」は、何かをしようという気になることをいいますが、やはり不適切です。

七 「平らだ」は、「活用語尾を送る」という「送り仮名の付け方」の原則の例外で、「ら」から送りますので、問文の書き表し方が適切です。

八 指示語の問題とまとめの問題をかねたものです。ここは、最終段落でまとめになる部分であり、段落内容としても、何か一つの事柄にしぼって書かれてはいませんが、したがって、文章に出ている全部の事柄を受けたものとして、③「言葉が変化していく現象」が適切です。第二段落にある表現ですが、そこでも、「同じ物でも言い方が変わる」という事柄を「…の一つ」と言っているのので、「言葉が変化していく現象」について、他のものも含めて考えていることが分かります。①は第四段落であつて、②は第一・第二段落であつたこと、③は第四段落であつたこと、ともに全体を表していません。

